

平成27年度 第2号



ペンシルロケット

日本の宇宙開発の歴史は、昭和30年4月12日に国分寺町(当時)で東京大学生産技術研究所の糸川英夫教授らが行ったペンシルロケットの水平発射実験に始まります。

実験場所だった中央工業跡地の銃器用ピットは、現在の早稲田実業学校敷地内にありました。

平成18年4月1日に実験から50年目を迎えたことを記念して、正門前に「日本の宇宙開発発祥の地」顕彰碑が建てられました。全国各地の方々からのご支援を得て誕生した顕彰碑の下には、松本零士氏デザインのタイムカプセルも埋められています。

タイムカプセルは、ペンシルロケット発射実験100周年を迎える2055年4月に開封予定です。

■ 目次 ■

- 巻頭言 市民力の結集.....(1)
- 初春研修、新年会.....(2)
- 第7ブロック保護司組織運営連絡協議会.....(2)
- 秋の叙勲受章者・東京更生保護事業関係者顕彰式典.....(3)
- 北多摩東地区管外研修、社会を明るくする運動.....(4)
- 地域活動推進協議会、BBS会活動.....(5)
- ぶんくトピックス.....(6)
- 第II期地域別定例研修、第III期地域別定例研修.....(7)
- 多摩地区保護司会受彰祝賀会.....(7)
- 更生保護女性会、桐友会だより.....(7)
- 市の坂.....(8)
- 退任保護司紹介、新任・移動保護司紹介.....(8)
- 編集後記.....(8)

北多摩東地区保護司会の皆様におかれましては、日頃より地域の更生保護活動に多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。  
平成27年12月18日より、小金井市長に就任させていただきました。就任以来、その職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。誇りの持てる小金井、住み続けたいと願われる小金井、市民力が結集された小金井をつくりあげるために、精一杯取り組んでまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

近年、都市化や核家族化の進展により、人と人のつながりが希薄化するとともに、社会状況の複雑な変貌を背景に、犯罪や非行は多様化・高度化しています。特に、青少年犯罪については、凶悪化や低年齢化が進行しており、深刻な状況にあると思われまふ。これらを解決するためには、学校・家庭・地域が各々の役割をしっかりと果たし、連携した絆作りと、活力あるコミュニティの形成が重要となります。  
行政の長と、



市民力の結集

小金井市長

西岡 真一郎

して可能な限り、その実現に向けてまいりまてまいります。

しかし、行政だけの力で、活力あるコミュニティを形成することは困難であり、市民と行政の協働が必要不可欠であります。特に、犯罪を行なった人が更生し、地域に溶け込みコミュニティに加わるためには、地域の実情をよく理解し、日夜更生保護に関わっていただいている保護司の皆様なくしては、実現できないと考えております。行政としましては、皆様が円滑に活動できるよう全力でサポートしていく所存です。

今後とも、明るい社会を作るために、引き続きさらなるご理解ご協力をいただきたくお願い申し上げますとともに、北多摩東地区保護司会の益々のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

平成28年

## 初春研修・新年会

恒例の初春研修・新年会が1月15日に吉祥寺・東急レイホテルにて開催されました。今年の研修テーマは「行政と更生保護」(青少年を取り巻く諸問題を中心に)で、元国分寺市長の星野信夫様にご講演いただきました。40年前の『社会を明るくする運動』との出会いから始まり、行政としての更生保護事業の取り組みを詳しく説明していただきました。

また、第二部の新年会では、ご来賓として四市市長・市議会議長をはじめ東京保護観察所立川支部支部長、東保連・多摩連・北多摩東地区更女会長をお迎えし、多数の当地区会員並びに事務局を担当する各省市役所職員の方々に参加いただき合計94名の出席がありました。新年会の中で平成27年度の関東地方保護司連盟会長表彰以上の方々に北多摩東地区保護司会から記念品を贈呈致しました。叙勲・瑞宝双光章の茂木巖様(武蔵野)、叙勲・藍綬褒章の伊藤紀子様(武蔵野) 法務大臣表彰の馬詰耕

輔様(三鷹)、小林悦子様(三鷹)、全国保護司連盟理事長表彰の西尾恵子様(武蔵野)、関東地方更生保護委員会委員長表彰の井上智順様(小金井)、千本木勲博様(小金井)、須藤利一様(三鷹)、長谷部豊子様(国分寺)、関東地方保護司連盟会長表彰の小野山達久様(武蔵野)、立川八重子様(武蔵野)、望月加奈子様(武蔵野)、阿部勉様(三鷹)、菊地一雄様(三鷹)、正田道子様(三鷹)、高玉泰子様(三鷹)、孤島法夫様(小金井)、信山勝由様(小金井)、峯岸桂一様(国分寺)、田中博様(国分寺)、皆様、おめでとうございます。

(総務部長 尾崎 幸信)



第7ブロック

## 保護司組織運営連絡協議会報告

今年度は府中地区が当番で、10月26日に府中グリーンプラザで開催されました。

今年の協議会は「充実した保護司会の地域活動について」として、各地区で取り組んでいる地域活動が紹介されました。協議会の趣旨は、再犯防止や犯罪予防活動として地域ぐるみの取り組みの必要性が指摘されている状況で、各地区で取り組んでいる地域活動の情報交換を推進するというものです。

北多摩東地区の発表は、小金井分区の清水地区理事が4分区毎の活動内容や地区全体で開催する講演会など全体的な紹介を担当し、国分寺分区の森田地区副会長が、国分寺市の社会を明るくする運動として保護司会が中心になって進めている特色ある「ひまわり活動」を詳しく紹介しました。

その他の地区も社会を明るくする運動に関連した特色のある地域活動を報告するケースが多いと感じましたが、なかでも、調布・狛江地区の地区雇用主会による就労



支援活動や、北多摩北地区で中高生の暴力致死事件を契機にスタートした青少年健全育成協議会が取り組む保護司会と民生・児童委員や市PTA連合会との共同事業や学校との連携に力を入れる府中地区の活動など、興味深い報告がありました。

当地区からは須崎会長以下理事14名が参加し交流を深めることができました。

(小金井分区 清水 勉)

秋の叙勲受章者



茂木 巖氏

平成27年11月3日付、秋の叙勲において、茂木巖氏（武蔵野分区）が瑞宝双光章の栄によくされました。

茂木氏は昭和60年9月、保護司を拝命、平成21年9月に法務大臣表彰を受章、多くのケースを担当する傍ら、当地区保護司会の理事、監事として、また武蔵野分区の副分区長、監事として活躍されました。衷心よりお祝い申し上げます。

秋の褒章受章者



伊藤紀子氏

平成27年秋の褒章において、伊藤紀子氏（武蔵野分区）が藍綬褒章を受章されました。伊藤氏は昭和63年9月、保護司を拝命、平成22年9月に法務大臣表彰を受章、多くのケースを担当する傍ら、当保護司会の会計理事、理事としてまた武蔵野分区の副分区長、監事として活躍されました。衷心よりお祝い申し上げます。

東京更生保護事業関係者顕彰式典

平成27年度の東京更生保護事業関係者顕彰式典が11月26日北とびあで開催され、北多摩東地区保護司会の関係者40名が更生保護事業の進展に寄与された功績を顕彰されました。

叙勲（秋）瑞宝双光章

茂木 巖（武蔵野）

藍綬褒章（秋）

伊藤 紀子（武蔵野）

法務大臣表彰

- 馬 詰 耕 輔（三鷹）
- 小林 悦 子（三鷹）

全国保護司連盟理事長表彰

- 西 尾 恵 子（武蔵野）

関東地方更生保護委員会委員長表彰

- 井 上 智 順（小金井）
- 須 藤 利 一（三鷹）
- 千 本 木 勘 博（小金井）
- 長 谷 部 豊 子（国分寺）

関東地方更生保護委員会委員長感謝状

- 櫻 井 綾 子（小金井）

関東地方保護司連盟会長表彰

- 阿 部 勉（三鷹）
- 小 野 山 達 久（武蔵野）
- 菊 地 一 雄（三鷹）
- 孤 島 法 夫（小金井）
- 正 田 道 子（三鷹）
- 高 玉 泰 子（三鷹）
- 立 川 八 重 子（武蔵野）
- 田 中 博（国分寺）
- 信 山 勝 由（小金井）
- 峯 岸 桂 一（国分寺）
- 望 月 加 奈 子（武蔵野）

関東地方更生保護女性連盟会長表彰

- 高 井 朝 子（三鷹）

東京保護観察所長表彰

- 大 久 保 良 子（武蔵野）
- 大 野 寿 美 子（三鷹）
- 小 川 和 男（小金井）
- 川 畑 青 史（小金井）
- 齋 藤 武（小金井）
- 田 中 久 美 子（国分寺）
- 前 田 秀 樹（武蔵野）

東京保護観察所長感謝状

更生保護女性会員

- 小 谷 由 美 子（三鷹）
- 中 野 昌 子（小金井）

東京都保護司会連合会会長表彰

- 鈴 木 忠 良（小金井）
- 高 橋 豊（武蔵野）
- 中 里 英 亮（武蔵野）
- 水 野 瑠 美（国分寺）
- 三 ッ 木 静 江（国分寺）
- 宮 崎 邦 子（国分寺）
- 吉 野 武（三鷹）

東京更生保護女性連盟会長表彰

- 井 上 た き 子（国分寺）
- 江 南 公 子（武蔵野）

### 北多摩東地区 管外研修

平成27年10月5日より2泊3日

の行程で、保護司29名と事務局1名の総勢30名で、3月に開通した北陸新幹線にて、東京駅～金沢へ出発。金沢駅到着後、バスで近江町市場を見学、その後、金沢刑務所を訪問しました。当刑務所は伝統と格式を有し、明治元年旧藩政時代から改称を重ね、大正11年に金沢刑務所となりました。昭和45年現在地に新築移転し、現在は犯罪傾向が進んだ男性受刑者など、外国人を含め458名収容していま



す。暴力団員と窃盗罪の人数が多く、窃盗は全体の7割以上もいます。多様な教育活動、矯正指導を行っています。入所者が繰り返しの

多く、満期出所しても帰住先がないため、住居確保が必須であるようです。

説明後は所内見学、工場棟の230mの長い廊下に入り整列したところで非常ベルが鳴り出しました。列の前後の扉が閉ざされ、多くの刑務官の方が目の前を走り、何が起きたのか分からないまま暫く待機となりました。その後緊張しながら木工、印刷、洋裁、金属の作業等見学しました。

受刑者同士の争いがあったとのこと、非常時には職員全員が駆けつけることになっているそうです。

今回の研修は全行程お天気に恵まれ、保護司同士の親睦も深められ、また、希な体験もあり、充実した管外研修となりました。

(国分寺分区 池谷 敏子)

### 社会を明るくする運動

#### 三鷹分区

##### 八幡大神社大祭

9月13日(日)社明運動の一環として、八幡大神社大神輿巡行に横断幕を掲げて参加しました。

回を重ね地域に根づいた活動と



なり、津端副市長はじめ、54名が参加。楽しい見物する家族連れや、若い人達にも気持ち良くリーフレットやウエットティッシュを配布でき、効果的でした。

(片野 理代)

#### 小金井分区

##### 小金井なかよし市民まつり

10月17日・18日、小金井公園において「第43回なかよし市民まつり」が開催されました。会場には100を超える出店が並び、多くの人で賑わいました。「クラシックカーフェスティバル」も開催され、50台ほどの昔懐かしい車を見ることができました。小金井分区では



「保護司会小金井分区コーナー」を設け、うどん・石鹸・折り紙などの刑務作業製品の販売を行い、

収益金の一部は更生保護施設へ寄付をさせていただきました。併せて、17名の中生ボランティアにより、薬物乱用防止啓発活動を行いました。

(信山 勝由)

#### 国分寺分区

##### 国分寺まつり

さわやかな秋晴の下、平成27年11月1日(日)武蔵国分寺公園で国分寺まつりが開催され多くの市民・他の方々が登場されました。

国分寺分区『社会を明るくする運動』では、全国の刑務所で作られた刑務作業製品の販売や手作りイメージキャラクターの設置をし広報活動を行いました。オープンと同時に刑務作業製品を求めて多くの方が来場され、約200点の製品は午前中で完売となり大好評でした。完売後も多くの方が立寄り、



キャラクターとの記念撮影等大盛況で終了し、『社会を明るくする運動』の認知度を高める活動が行えた一日でした。

(緑川 道夫)

### 武蔵野分区

#### 青空市で刑務作業製品の販売

武蔵野分区では、11月8日、むさしの市民公園で行われた「第35回むさしの青空市」において刑務作業製品の販売を行いました。

「むさしの青空市」は、武蔵野市内の各種団体や安曇野市をはじめとした9都市、計50のテントで特産品や物品の販売や防災・防犯の広報活動が行われる一大イベントです。当日は、小雨交じりの天候でしたが、分区から21名が参加し、リーフレットとポケットティッシュなどを配布して、社会を明るくする運動の啓発・PR活動を行いました。

また、テントでは細うどんや棒状石鹸（ブルースティック）、藍染そば、から枕、折り紙、キッチンソープ、ぐんまちゃんメモ帳（富岡製糸場）などの刑務作業製品の販売を行いました。

武蔵野分区はこの青空市に毎回参加しているの



様々な団体の代表の方々がテントに訪れて頂き、情報交換と交流も行いました。

（高橋 榮治）

#### 地域活動推進協議会を開催

9月17日午後2時から三鷹の連雀コミュニティセンターで開催され、「BBS会の活動について」をテーマに、北多摩東BBS会及び早稲田大学広域BBS会から3名の講師（学芸大学及びお茶の水女子大の学生）による講演をしていただきました。

大橋統括保護観察官の挨拶の後、BBS活動の概要の紹介とその取組みの例として、保護観察中の少年たちと、関わり、彼らの自立を支援する「ともだち活動」や「グループワーク」、「学習ボランティア」等の説明がありました。

#### 更生保護関

係者以外の方にもBBS会の取組みが理解されたのでは、と思います。（小金井分区 志波 直男）



#### BBSとの合同研修会を開催

10月23日にBBSと地活部員計12名で警視庁立川少年センターを訪ねました。本施設は都内に8か所ある少年センターの1つです。少年センターの事業は概ね次の3つに集約されます。

- ① 学校でのいじめや家庭での暴力等について面接や電話による相談、カウンセリング、心理検査を行う。
- ② 深夜徘徊や不良行為の青少年を専門の補導員の他、ボランティアの協力を得て補導にあたる。
- ③ 農業体験や陶芸教室を通して、非行に走った少年たちの立ち直りを支援する。

その他薬害防止活動にも力を入れ、少年センター活動の一端を知ることができました。

（小金井分区 志波 直男）

#### 北多摩BBS会

北多摩東BBS会は東京学芸大学を拠点に活動を行っており、小中学校や児童福祉施設などでの活動が特に活発です。

小中学校では不登校や保健室登

校の生徒たちと一緒に勉強したり、お話し

したりして継続的に支えることで教室への復帰を促す不適応支援や、生徒たちの勉強をサポートする学習支援も行っています。



児童福祉施設では、中高生を対象に子どもたちの学習のサポートをする学習ボランティアのほか、小学生を対象に遊びを通して子どもたちの社会性を育む学童ボランティアや幼児を対象とした保育ボランティアを行っています。

「東京都立誠明学園」では、毎年クリスマスコンサートに女子合唱部として関わらせていただいています。3か月ほど一緒に歌を練習して、本番に臨みます。

また、他地区のBBS会との合同研修や「紫翠苑」では、一年に四回ほど苑生たちと関わる機会を持たせていただいています。

社会を明るくする運動や研修会にも参加しており、ひまわりコンサートの中では更生保護や心の健康などをテーマに毎年発表をしています。

（丸山 友香）

ぶんくろピックス

国分寺分区

小田原少年院を視察して

12月11日(金)に14名が参加して管外研修を行いました。

小田原少年院は、明治35年に小田原監獄として開設されました。

宮崎院長からのお話で一番印象に残っているのは、常々指導のキーワードとして職員の方々に伝えられている「育て直し」という言葉です。入所している少年の4割以上が両親の離婚を経験し、貧困生活の中、虐待を受けるなど、生育過程で十分な愛情を受けていないケースが多いのです。「育て直し」の基本は「傾聴、共感、率先垂範」。私達保護司にとっても忘れてはならない、大切な姿勢だと感じました。



少年たちが力強く人生を歩んでいけるように、保護司として力を尽くそうという思いを新たにしました。(戸倉 央江)

武蔵野分区

市原学園を視察して

12月14日(月)千葉県市原市の市原学園を視察しました。市原学園は比較的新しく開設された第一種少年院で、市原刑務所に隣接しています。

学園のなりたちや教育の特色などの説明を受けたのち、少年たちが体育館で教育活動中とのことで、居室も含めた院内を見学させていただきました。天井が3部屋ずつ使われる食堂、陶芸や木工の指導を行う作業室、式典にも使用する視聴覚室などをみせていただき、少年たちの生活の様子を少しだけ想像することができました。(中川 知子)



三鷹分区

府中刑務所を視察して

12月9日念願の府中刑務所へ日帰り研修、市役所を出発し櫻並木



を抜け施設へと車を走らせました。施設内に入る際、全員身分証明書掲示の指示があり少しまごつきました。施設は日本最大規模で、外国人の矯正に対する国際対策室があり、また医療重点施設に指定されています。現在は定員の78%位が収容されており、最高齢者が78歳とのこと。作業現場ではタオルをたたむ仕事をしており、どこの施設も高齢化が進んでいると考えさせられました。(林 邦子)

小金井分区

立川拘置所を視察して

12月8日、総勢12名にて立川拘置所を視察しました。六年前に八王子から移設され、多摩地区内の被疑者や被告人を主として収容しています。

拘置所としては国内3番目の規模で千名の収容力があり、外壁がなく圧迫感のない都市型の拘置所



無罪となる可能性のある者を収容することもあり、人権上の配慮もされているように感じました。(小川 和男)

です。現在の収容人数は500名で、男性が80%を占めています。収容者は、受刑者とは法的位置が異なり、有罪の確定があるまでは無罪の推定を受けるため、衣類や日用品等の持ち込みや、面会が認められています。刑が確定した者は、収容施設を決定するための処遇調査を行い、全国の各刑務所に移送される他、当所内で刑を執行する受刑者の矯正処遇も行っています。施設は最新のセキュリティが導入されており、内部は全体的に綺麗で、6名の共同房と独房があり、運動場は床はやわらかい素材を使用し、上から太陽が差し込む構造です。

第Ⅱ期地域別定例研修について

研修部長 小美濃 晃子

平成27年度・第Ⅱ期地域別定例研修が開催されました。

テーマは「接触を確保するための関わり方」についてです。10月16日小金井・国分寺で、10月21日武蔵野・三鷹で開催されました。

小林・林田保護観察官の講義に続き、お互いに自分の経験やテーマについて話し合う一組8人のグループ協議が行われました。

今回の研修は、保護観察の要ともいえる接触の意義・在り方、工夫などについての内容です。保護観察は対象者と保護司の接触が基本ですが、本人が来訪しない、連絡がとれない等のなやみが多くだされました。

本人の立ち直りのために、これからもっと保護司の責任が必要だ



と強く感じた研修でした。

第Ⅲ期地域別定例研修

テーマ「就労支援を考える」

・2月19日(金) 午後2時～4時  
国分寺市立本町・南町地域センター集会室

・2月26日(金) 午後2時～4時  
武蔵境スイングレインボーサロン

多摩連情報

平成27年度受彰祝賀会を開催

平成27年12月4日(金)立川グランドホテルに於いて、多摩地区保護司会連絡協議会受彰祝賀会が開催されました。受章者は、叙勲章、褒章、法務大臣表彰、全国保護司連盟会長表彰あわせて41名で、受章者、ご来賓、多摩連理事等約100名の参加者が集いました。挨拶、祝辞、謝辞、記念撮影そして乾杯、アトラクションと賑やかな会となりました。受章者の皆様のみますますのご活躍を祈念いたします。

(多摩連提供記事より)

北多摩東地区

更生保護女性会の活動状況

北多摩東地区更生保護女性会

会長 立川 八重子

現在更女の会員数は、正会員424名、賛助会員83名です。年間の活動資金は、会費、賛助会費、寄付金、東京更生保護女性連盟主催の観劇の返戻金、そして北多摩東地区保護司会からの助成金です。

今年度の活動として松本少年刑務所(写真)を37名で訪問しました。

松本少年刑務所は、北アルプスが望める美しい環境の中にあり、大きな特徴は義務教育を終えていない受刑者を集めて中学校教育を行っていることです。当日も教室の中で5人の生徒が、熱心に英語を勉強していました。

その様子  
をみて少年  
たちの一日  
も早い社会  
復帰を願わ  
ずにはいら  
れませんが  
した。



桐友会だより

山代 法道



東京桐友会の活動  
平成27年4月  
22日、第一回理事  
会を開催。事業・

収支決算報告、役員改選等。

平成27年6月24日、第二回理事  
会を開催。「会員の集い」の計画。

平成28年2月17日、第三回理事  
会を開催。平成28年度の事業計  
画、予算(案)、役員選任等。

第34回「東京桐友会会員の集い」

平成27年9月9日アルカディア  
市ヶ谷において開催され、北多摩  
東桐友会からは会員2名、北多摩  
東地区須崎会長、桐友会担当の小  
山保護司が出席されました。

会は概ね例年どおりで、①長寿  
者への記念品贈呈②来賓等の祝辞  
③総会(前年度の事業・収支決算  
報告等)、第2部清興(ソプラノ  
アンサンブル)がありました。

北多摩東桐友会の活動

地区活動は、各種行事への参加  
の他、今年度は日帰り研修(施設  
見学)や、武蔵野分区では、2年  
振りに会員の昼食懇親会を開催。  
最高齢95歳の方を始め7名の出席  
がありました。

年二回発行 昭和四十八年十月一日創刊

平成二十八年三月一日発行

発行者 編集人

北多摩東地区保護司会 孤島法夫 電話〇四二(三八二)一〇七一

### 三鷹市「おおざか」

(三鷹市大沢2丁目)

人見街道が国分寺崖線にさしかかる所の坂。大正12年頃、道路(旧道)が拡幅されたことから地元の人たちは、この坂を「おおざか」と呼ぶようになったといわれています。



(「三鷹市史」より)

### 武蔵野市「坂のない市」

東西6.4km。南北3.1kmの平坦な地形に恵まれた緑豊かな街、武蔵野市は、名前のついた坂はなく、自転車で走りやすい街です。



## 坂

### 国分寺市「たまらん坂」

たまらん坂は、大正時代に国立と国分寺をつなぐ道路を作るため、段丘を切り開いてできた坂です。

名前の由来は、坂を上っていた旅人が急な勾配で「これはたまらん、たまらん」と繰り返したところからだと言われています。



### 小金井市「いなり坂」

小金井には、西から東に向かって野川が流れており、その北側は段丘となっていて、国分寺段丘と呼ばれる落差が20m~30m位あり清水が湧く「ハケ」があります。坂道には名もないものもあるが、分かっているだけでも市内には45の坂があります。

坂の中腹に稲荷社があったのがこの名の由来です。



### 退任保護司

永い間お疲れ様でした。今後も益々お元気でご活躍下さいますよう祈念申し上げます。

木下 昌利氏 (国分寺分区)

平成27年9月16日 (在職15年)

正田 道子氏 (三鷹分区)

平成27年12月31日 (在職7年)

西尾 恵子氏 (武蔵野分区)

平成28年1月31日 (在職20年)

### 新任保護司

左記の方が委嘱されました。今後のご活躍を期待致します。



(三鷹分区) 小俣 崇氏  
平成27年9月21日発令



(国分寺分区) 内藤 達也氏  
平成28年2月1日発令



(国分寺分区) 輿石 範子氏  
平成28年2月1日発令



(国分寺分区) 片畑 智子氏  
平成28年2月1日発令

### 移動保護司

小山 直子氏

平成28年2月1日

国分寺分区から小金井分区へ

### 編集後記

桜の開花が待ちどおしい季節になりました。

皆様にご協力いただきながら、123号が発行の運びとなりました。ありがとうございます。

今回の四市の「坂」を紹介するコーナーで、武蔵野市に坂がないのを初めて知りました。

(武蔵野分区)



前号(122号)巻頭言の中、更生が更正となっております。お詫びして訂正いたします。